



しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ 作

ポフダン・ブテンコ 絵

うちだりさこ 訳

福音館書店 1969年 800円

水の不思議な性質を描くポーランドの科学絵本です。ある日、村のおばさんのバケツから、水がひとしずくとびだして旅にでます。しずくの冒険のはじまりです。おひさまに照らされて蒸発して雲の上のにぼり、仲間と一緒に雨になって、また地面にもどります。もどった先が岩の割れ目で、寒い夜に氷になって岩を砕いてしまいます。小川の中から水道へ、水道の蛇口から洗濯機の中に、洗濯物と一緒に干されているうちに、蒸気になって外へでます。ところが、寒かったので大きなつららになってしまいます。目にみえない蒸気、空から降る雨、氷、つらら、そして水道からでてくる水、日常生活を取り巻く水の不思議を、しずくの冒険を通してわかりやすく、楽しく描いています。

グラフィック・デザイナーとして活躍したブテンコの絵は、軽快でシンプル、明るい色づかいがスタイリッシュです。文章は手描きの文字で綴られ、「ぐるんぱのようちえん」「たろうのおでかけ」などの画家、堀内誠一がレタリングしています。詩のような訳文は、歯切れが良く、1ページごとに場面が変わるスピーディな展開とともに、物語を読む楽しみも与えてくれます。

かわ

加古里子 作・画



福音館書店 1966年 743円

高い山にはじまり、谷川に下り、村や町をとおり、海でおわる川の様子を、絵で忠実に追った絵本です。川の周りに住む人々の暮らしや、様々な川の役割が、丁寧な絵と説明で描かれています。



こいぬがうまれるよ

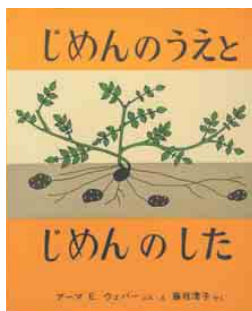
ジョアンナ・コール 文

ジェローム・ウェクスラー 写真

つばいいくみ 訳

福音館書店 1982年 900円

子犬が生まれる瞬間から、親離れまでの2ヶ月間を描いた写真絵本です。子犬をもらう予定の女の子が語るという形式の文章と、白黒の写真が、成長する小さな命のすばらしさを伝えるユニークな科学絵本です。



じめんのうえとじめんのした

アーマ E. ウェバー 文・絵

藤枝滯子 訳

福音館書店 1968年 900円

地上と地下で、動物や植物が上手に住み分けている様子を描いた科学絵本です。単純明快な絵と簡潔な文章で、光合成のしくみや、植物と動物の関係など、科学的な事実を正確に、しかもやさしく理解できるように描いています。



せかいのひとびと

ピーター・スピアー 文・絵

松川真弓 訳

評論社 1982年 1500円

国や民族や風土によって異なる食べ物、衣装、家、遊び、文字等が、大型絵本いっぱいにびっしり描かれています。ひとりひとりが違っていることこそ素晴らしい、と讀える絵本です。1980年に書かれたので、数字や国名などが少し古くなっていますが、世界の多様性を学ぶのに、これ以上のものはまだありません。

